

県内社会福祉施設等における防犯対策取組事例（概要）

区分	既に取り組んだもの	今後検討するもの
1 施設設備	<ul style="list-style-type: none"> ●フェンス・門扉など外構設置、正門への赤色回転等設置、屋外照明の常夜点灯 ●防犯カメラ、人感センサーによる侵入アラーム、防犯ブザー、モニター付きインターフォンの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●1階窓ガラスの強化、防犯フィルム装備 ●防犯カメラ、人感センサーによる侵入アラーム、防犯ライト、防犯センサーの整備
2 防犯資材	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯スプレー、さすまたの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯スプレー、さすまた、催涙スプレー、カラーボール、警棒型懐中電灯、防犯用マスタードカラーズスプレーの整備
3 緊急時通報	<ul style="list-style-type: none"> ●非常ベル(火災報知器)を緊急警報として使用、警備会社と連携した緊急通報システム等の導入 ●PHSの携帯 ●警備会社との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●非常ベル(火災報知器)を緊急警報として使用、防犯ベルの整備、警備会社と連携した緊急通報システム等の導入 ●警備会社への通報機能付き防犯ベルの携帯 ●外部への連絡体制の整備
4 関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間パトロールの警察への要請、警察と合同で不審者侵入時防犯訓練の実施、消防署立会での非常通報装置作動訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間パトロールの警察への要請
5 訪問者対応	<ul style="list-style-type: none"> ●受付での来訪者名簿(面会記録、面会カード)記載の徹底、来訪者への名札の着用、時間帯により正門閉鎖、夜間施錠・インターフォン対応化、出入り口の1箇所をインターフォン呼び出し・職員開閉化、訪問者対応ガイドラインの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●受付での来訪者名簿(面会記録、面会カード)記載の徹底
6 施設内の体制等	<ul style="list-style-type: none"> ●職員への注意喚起、緊急連絡網の整備・再確認、非常時連絡先の分かりやすい場所への掲示 ●マニュアル(緊急時対応、不審者対応、防犯)の作成・見直し、訓練の実施 ●夜間・休日の施錠確認の徹底、入口等の暗証番号変更 ●法人内他施設との緊急連絡体制の整備 ●職員対象の救護法講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●マニュアル(緊急時対応、不審者対応、防犯)の作成・見直し、訓練の実施 ●入所者を含めた学習会開催
7 その他		<ul style="list-style-type: none"> ●利用者、家族への現状対応説明文の送付

県内社会福祉施設等における防犯対策取組事例(支援対象別)

区分	施設の種類	既に取り組んだもの	今後検討するもの
入所施設	救護施設	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯用機材の整備(防犯カメラ、人感センサー、防犯スプレー、さすまた) ・夜間・休日施錠の確認徹底、職員通用口の暗証番号変更 ・夜勤職員のPHS常時携帯 ・不審者対応マニュアル、緊急時対応マニュアル等の見直し ・緊急事態発生時、非常ベル(火災報知器)を緊急警報として使用することを確認 ・職員への注意喚起と緊急連絡網の再確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯用機材の整備(防犯カメラ、侵入アラーム、防犯スプレー) ・警備会社への通報機能付防犯ベルの携帯 ・不審者対応マニュアルの改正及び訓練 ・夜間パトロールの警察への要請
	高齢者福祉施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への注意喚起 ・緊急連絡網の再確認 ・施錠状況の確認の徹底 ・防犯用機材の整備(さすまた・人感センサー、赤色回転灯) ・不審者への対応マニュアルの作成、整備、再確認 ・訪問者対応ガイドラインの作成 ・訪問者対応の見直し(面会カード記入、名札着用、時間帯により正門の閉鎖、管内入口の夜間施錠・インターフォン対応) ・警備システムの導入 ・電気錠の暗証番号変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者への対応マニュアルの作成・再整備 ・防犯用機材の整備(防犯カメラ、さすまた、催涙スプレー、防犯センサー、防犯用ライト、警棒型懐中電灯、防犯用マスタードカラーズプレー、非常用階段入口への防犯用鎖) ・来訪者に対するチェックの強化(来訪者名簿への記載の徹底、面会記録の整備、等) ・新たな警備システムの導入(緊急通報システム、館内警報機) ・利用者及び家族への現状対応説明文の送付 ・1階窓ガラスの強化
	児童福祉施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間、休日の施錠の徹底 ・緊急連絡網の再確認 ・訪問者管理の見直し ・警備会社との連携強化 ・夜間の安全管理の職員への周知徹底 ・緊急事態発生時、火災報知器を緊急警報として活用 ・フェンスや門扉など外構の設置 ・防犯カメラの設置、屋外照明を常夜点灯に変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時対応マニュアルの作成や改訂 ・夜勤職員の防犯ベルの携帯 ・防犯用機器の整備(防犯カメラ、防犯ベル、さすまた、防犯スプレー) ・施設の改修 ・防犯システム見直し
	障害福祉施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯用機材の整備(感知センサーライト、防犯カメラ、防犯ブザー、モニター付きインターホン設置、防犯スプレー) ・警備会社と連携しての緊急通報システムの導入 ・警察に施設周辺のパトロールを依頼 ・警察と合同で不審者侵入時の防犯訓練を実施 ・侵入者に対応した防犯マニュアルの作成 ・緊急連絡網の整備、同一法人内の他施設との連絡体制整備 ・消防官立ち会いの下、非常通報装置の作動訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯マニュアルの作成 ・防犯対策への意識を高めるため、入所者を含めた学習会の実施 ・敷地内の防犯のための対策等(遠赤外線等の活用) ・防犯用機器の整備(さすまた、防犯カメラ、警報装置等)

県内社会福祉施設等における防犯対策取組事例(支援対象別)

区分	施設の種類	既に取り組んだもの	今後検討するもの
通所施設	高齢者通所介護施設	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への注意喚起 ・緊急連絡網の再確認 ・施錠状況の確認の徹底 ・警備システムの導入 ・不審者への対応マニュアルの再確認 ・訪問者対応の見直し(来訪者の記録とチェックの徹底) 	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者への対応マニュアルの作成・再整備
	市町村立保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間・休日の施錠の徹底 ・緊急連絡網の再確認 ・非常時対応マニュアルの作成・改正 ・訪問者管理の見直し ・警備会社との連携強化 ・緊急事態発生時、火災報知器を緊急警報として活用 ・防犯用機器の整備(さすまた、防犯スプレー等) ・フェンスや門扉など外構の設置 ・防犯訓練の実施 ・来客のインターホン対応を徹底 ・保護者以外に児童引渡をしない ・お泊まり保育の中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時対応マニュアルの作成・改正 ・訪問者管理の見直し ・緊急事態発生時、火災報知器を緊急警報として活用 ・防犯用機器の整備(防犯カメラ、さすまた、防犯スプレー) ・施設の改修
	障害児及び障害者の通所事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯用機器の整備(防犯スプレー、防犯カメラ、防犯ブザー、携帯防犯ブザー等) ・非常時の電話連絡先をわかりやすい場所に掲示 ・職員全員で救護法講習会実施 ・事件後、警察によるパトロール強化の申し入れ。119番要請の確認 ・職員ミーティングなどで、危機管理と関係機関との連携を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡通報システムの設置、携帯型緊急通報装置(警備会社セキュリティ)の導入 ・防犯用機器の整備(防犯フィルム、カラーボール) ・防犯マニュアルの作成 ・外部への連絡体制の整備